

[第3学年]

[第4学年]

- 1 題材名 表とグラフ (第二次 2/4)
- 2 主眼 「好きな動物調べ」を棒グラフに表し、そのよさがわかる。
- 3 準備 ①「沖浦小好きな動物調べ」の表 ②グラフ用紙 ③学習プリント
- 4 展開

- 1 題材名 およその数 (第一次 1/4)
- 2 主眼 買い物をする活動を通して、概数のよさに気付き、概数を活用する必要性を実感する。
- 3 準備 ①品物 (バナナ、ケーキ、すいかなど) ②学習プリント ③実物投影机
- 4 展開

評価	準備	教師の働きかけ	学習活動・内容	過程	学習活動・内容	教師の働きかけ	準備	評価
ア	①		1 問題文を読み、学習課題をつかむ。	つかむ	1 決められた品物を1000円で買うことができるかを考える。	・「バナナとケーキとすいかをかごに入れレジに並びました。1000円でたりるかなと心配になりました。」という設定で考えさせる。	①	ア
		「沖浦小好きな動物調べ」を棒グラフにあらわし、棒グラフのよさを見つけよう。			たりるかどうかが、簡単に見つける方法を考えよう。			
	②	・横軸には動物の名前、縦軸には人数を表していることに気付かせる。 ・最小目盛りの人数を押さえておく。	2 表を見て、棒グラフに表す方法を考える。 ・横軸 ・縦軸	見つける	2 どのような方法で答えを出したのかを発表する。 ・筆算 ・だいたい ・適当に	・自分の考えた方法を学習プリントに書くように伝える。 ・自分の考えが説明できるように考えをまとめておくよう伝える。	② ③	
	③	・グラフに表したら縦軸の目盛り、横軸の名前、表題、好きな動物の人数などが正確にかけているかどうかを確認しあう。	3 棒グラフを書く。 ・横軸に動物の名前 ・縦軸に人数 ・数を表す棒 ・表題	理解する	3 どの方法が簡単な調べ方かを考える。	・それぞれの方法のよさや問題点を見つけるように助言する。 ・正確な答えが必要か考えるようにする。		
	②	・分かったことについては、一人一人が考えるように伝える。 ・どんな小さな気付きでも認める。	4 棒グラフから分かったことをまとめ、発表する。 ・数量の比較 ・比較し易い ・表より分かり易い	深める	4 1000円で買い物をする。	・だいたいの大きさを見積もったおよその数であることを伝える。 ・概数の意味をつかませる。		
		・時間があれば、数の多い順に並べかえて棒グラフを作ることにチャレンジさせる。				・本時で学習したことを生かすように促す。 ・みんなで、1000円で買い物ができるかの確認をする。	①	

5 評価

観点	表現・処理		
評価 ア	資料を表からグラフに表すことができる。 (学習プリント、発表)		
	A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する
	・棒グラフに表すことができ、よさを見つけることができる。	・棒グラフに表すことができる。	【教科書の棒グラフを参考にさせる。】

( )は評価方法 【 】は手だて

★★本時のポイント★★

沖浦小の児童の「好きな動物調べ」なので関心をもって取り組むと思われる。整理の仕方の一つである棒グラフに表そうという課題意識をもたせ、できるだけ自力で学習が進められるよう支援していきたい。表題、縦軸、横軸、1目盛りの大きさ、棒をかく作業が適切に行われ、それを通して棒グラフに表すことのよさをつかむことができたかを見ていただきたい。

5 評価

観点	関心・意欲・態度		
評価 ア	概数を用いる必要性やよさに気付く。 (学習プリント、発表、買い物をする活動)		
	A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する
	・概数を用いる必要性やよさに気付き、活用していることとする。	・概数を用いる必要性やよさに気付く。	【学習活動3を振りかえらせ、それを使って買い物をするようにさせる。】

( )は評価方法 【 】は手だて

★★本時のポイント★★

日常生活では、計算を概算するなど概数がいられることが多い。買い物をする場合も、「だいたい〇〇円だ」と見通しを立てお金を用意することもある。正確な数字よりもおよその数として把握するほうが有効なことを見つけ出し、概数で見積もると便利なことに気付き、それを活用して買い物をする姿を見ていただきたい。